

大学院農学研究科食料生産学専攻植物工場システム学コース  
緑化環境工学教育分野（助教）の募集

1. 対 象 者

(1) 所属・職名 : 大学院農学研究科 食料生産学専攻 助教 1名  
教育組織 : 植物工場システム学コース

(2) 教育分野 : 緑化環境工学

植物工場など制御環境下での栽培システムおよびグリーンアメニティを実現する人工緑化システムを対象とし、これらのシステムの解析、設計、管理に必要な一連の教育研究を行う。具体的には、植物生体情報（光合成、蒸散、クロロフィル蛍光、植物起源揮発性有機化合物など）の計測技術とそれらに基づいた植物診断、光・温度・湿度・二酸化炭素濃度などの環境要因の調節、アメニティ効果の評価に関連する教育研究を行う。

(3) 資格条件 : ア. 博士の学位を有する者または取得見込みの者  
イ. 緑化環境工学に関する分野の研究業績を有し、その教育研究に意欲を有する者  
ウ. 愛媛大学植物工場研究センターの活動に積極的に取り組める者  
エ. 決定次第、可能な限り早期に着任可能な者

(4) 任期 : 5年（テニュア教員育成制度）

※ 愛媛大学のテニュア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。詳しくは、注）をご覧ください。

(5) 雇用条件 : 給与は、年俸制を適用する

(6) 担当授業科目 : 大学院: 植物工場特論（分担）、外書講読（分担）、食料生産学特別演習（分担）、食料生産学特別実験・実習（分担）、植物工場システム学特別演習（分担）、植物工場システム学特別実験・実習（分担）  
学 部: 植物工場システム学概論（分担）、専攻セミナーⅠ・Ⅱ（分担）、基礎環境学・システム情報学（分担）、養液栽培システム学（分担）、植物工場システム学実験・実習（分担）、農学実習ⅠB（分担）、植物工場システム学（分担）、栽培システム制御学（分担）、緑化環境工学（分担）、緑化環境工学演習（分担）、卒業論文（分担）

2. 提 出 書 類

(1) 履 歴 書 : 所定様式 1通

(所定様式は<http://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>からダウンロードしてください。)

(2) 研究業績等目録 : A4版横書き（論文別刷り、著書及び参考資料添付\*）

学位論文—題目、年

著 書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者など（分担項目、頁）、出版所、発行年

学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁

参考業績—学術論文に準ずるもの、特許・外部資金獲得・社会貢献等の実績  
なお、学会発表は件数のみで可

教育実績—担当授業科目、場所、期間

\*学術論文別刷りについては、すべてPDFファイルにして、記録媒体（USBまたはCD-Rなど）で提出する。その他の業績は、PDFファイルまたは紙媒体で提出する。

(3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）  
着任後の教育研究に対する抱負（800字程度）

(4) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類

(5) その他参考となる資料

3. 応募期日：平成31年3月11日（当日消印有効）  
（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）
4. 送り先：〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長  
（封筒に「緑化環境工学教育分野」と朱書のこと）
5. 選考方法：一次：書類選考  
二次：面接及びセミナー  
（但し、旅費等の経費は自己負担とする）
6. 問い合わせ先：農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803  
FAX (089) 977-4364  
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp
7. 公募書類の送付先：所定

[付記]

コースの状況（平成31年1月12日現在）

専任教員：教授2，准教授2，助教2 [うち緑化環境工学教育分野 教授1]

兼任教員：教授3 [うち緑化環境工学教育分野 教授1]

寄附講座教員：教授1，准教授1，助教1

- (1) 愛媛大学植物工場研究センターの活動に関しては、下記URLをご参照ください。  
<http://igh.agr.ehime-u.ac.jp/index.html>
- (2) 男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。
- ・若手研究者キャリア支援事業：若手研究者（出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者）に研究活動の維持・促進，キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
  - ・女性研究者支援員制度：出産・育児・病気が等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合，事案ごとに，女性研究者本人，または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。
  - ・Dual Career支援制度：教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合，該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
  - ・保育施設：「えみかキッズ」（城北キャンパス），「あいあいキッズ」（重信キャンパス 医学部附属病院保育施設）の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には，病児保育制度もあります。
  - ・学童保育：春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また，「あいあいキッズ」では，通年の学童保育を実施しています。
- (3) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。  
なお、選考の結果を愛媛大学ホームページで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

愛媛大学採用情報：<https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>

注) テンユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テンユア教員育成制度」を導入しました。

新規採用された講師，助教ならびに一部の実務家教員等（教授，准教授等）について，5年の任期中の最初の3年間で，本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム（合計100時間以上）と，研究費の配分等の財政的支援を提供します。

期間中の3年目に中間審査を，5年目に最終審査を実施し，中間審査または最終審査に合格した者をテンユア職（終身雇用）に移行させます。ただし，最終審査に不合格となった場合は，5年で任期満了となります。

なお，詳細については本制度に関するホームページ

(URL：<http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>) をご覧ください。